

【資料1】

地球温暖化の影響は、海に沈む島国など目に見える形ですでに姿を現しつつある。温暖化対策の新枠組み「パリ協定」は2016年の11月に発効されたが、行動が伴わなければ深刻な被害を防ぐことは不可能である。温室効果ガスを確実に削減するためのルール作りが今後の焦点となる。化石燃料に依存した私たちの暮らしも大きく変える必要がある。

世界の平均海面は過去100年で約20cm上昇した。気温上昇で氷河が解け、海水が熱せられて膨張し、砂浜が浸食され高潮の危険も高まる。先進国も備えが必要だが、小さな島国は国土が海に沈む事態に直面する。

太平洋にある小さな島国キリバス。キリバスを構成する島々の多くは高台がなく、平均海拔は2mほど。温暖化でサイクロンが襲来するようになり、高潮被害や海岸浸食も起きている。別の場所に移住を余儀なくされた村もある。

温室効果ガスが減らなければ被害は続く。日本は、温室効果ガスを2030年に2013年度比26%、2050年に80%削減する目標を掲げるが、実現には化石燃料をほとんど使わない”脱炭素”に向けて暮らしを変える必要がある。

【資料2】 Society 5.0

